令和６年９月５日、和歌山県立新宮高等学校にて、講義を行いました。
「日本を外から眺める」をテーマに、講師の具体的な経験を交えながら解説しました。

参加学生の感想
●今の日本の状況(安全、経済など)がよく分かった。途上国の支援は自国を豊かで世界との関係を良好に保つためでもあるという話が印象的だった。私が普段目にするニュースは日本の視点からのものが多いので、同じ内容でも他国はどのように報道しているのか、国民はどう感じているのかが気になった。決して安全ではないが私たちがこうして今日も変わらず暮らしていられるのは外務省の努力があってこそなのだと心から感じた。
●平和について考えが深まった。外の世界からの視点が大事ということが印象に残った。
●治安がいいだけが平和ではなく、他国に対する抑止力なども関係しているということが印象に残った。
●これまであまり関係ないと思っていた世界の出来事が私たちとこんなに密接に関わっている身近な出来事だということに驚いた。ニュースなどでみていて、難しくてよくわからなかったことも今回のお話を聞いて理解できたのでよかった。これからは日本はもちろんですが世界のニュースにも興味を持って注目して行きたいと思う。